

<b>【科目名】</b> 中枢神経疾患作業療法治療学				<b>【担当教員】</b> 北上 守俊					
<b>【授業区分】</b> 専門分野 (作業療法治療学)		<b>【授業コード】</b> 4-23-0880-0-1		(メールアドレス) kitakami@nur05.onmicrosoft.com					
<b>【開講時期】</b> 3年次 前期		<b>【選択必修】</b> 必修		(オフィスアワー) 木曜日 13:00～18:00					
<b>【単位数】</b> 1単位		<b>【コマ数】</b> 15							
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 生理学、解剖学、運動学、臨床医学の知識を整理および修得をしておくこと。 作業療法評価学の知識および技能を再学習しておくこと。 (受講のルールに関わる情報・予備知識) 実技演習できる服装で参加すること。									
<b>【講義概要】</b> (目的) 脳血管疾患、脊髄損傷、神経疾患、神経筋疾患などの中枢神経疾患の臨床像を理解し、その生活機能障害に対して、適切な作業療法が選択できる知識と技能を修得することを目的とする。 (方法) 教科書や配布資料などによって中枢神経疾患に対する評価から治療に至る作業療法過程についての講義を行う。									
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>中枢神経疾患の臨床像とその生活機能障害について理解する。</li> <li>中枢神経疾患に対する作業療法評価から治療に至る作業療法過程を理解する。</li> </ul> <b>【行動目標(SBO)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>各疾患の臨床像とその生活機能障害について説明できる。</li> <li>中枢神経疾患の作業療法について、その目的と治療、指導、援助内容が説明できる。</li> </ul>									
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 特になし									
<b>【参考書】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>岩崎テル子編集・『身体機能作業療法学』標準作業療法学 医学書院, 2011年. ¥4,935</li> <li>長崎重信編集・『身体障害作業療法学 改訂第2版』作業療法学4 ゴールド・マスター・テキスト メジカルレビュー社、2015年. ¥5,832</li> <li>菅原洋子編集・『身体障害 作業療法治療学 1』作業療法全書 協同医書出版社,2011年. ¥3,990</li> </ul>									
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) <ul style="list-style-type: none"> <li>成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。</li> <li>試験 50%、実技 50%の割合で総合的に判定する。</li> </ul>									
<b>【達成度評価】</b>		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	参加態度	合計
総合評価割合		50	0	0	0	50	0	0	100点
評	取り込む力・知識	50	0	0	0	25	0	0	75

平成 26～28 年度入学者用

価 指 標	思考・推論・創造の力	0	0	0	0	25	0	0	25
	コラボレーションとリーダーシップ	0	0	0	0	0	0	0	0
	発表力	0	0	0	0	0	0	0	0
	学修に取り組む姿勢	0	0	0	0	0	0	0	0
<b>【授業日程と内容】</b>									
回数	講義内容	授業の運営 方法			学修課題(予習・復習)			時 間 (分)	
1	中枢神経疾患に対する作業療法治療学の基本的知識① (介入過程、方法、リスク管理等)	講義			資料を配布する。			60 分	
2	中枢神経疾患に対する作業療法治療学の基本的知識② (運動学習、運動制御、予後予測等)	講義			1 回目の講義の配布資料を読んでおく。			60 分	
3	実技試験								
4	脳血管疾患に対する作業療法① 具体的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			教科書 p.164-198			60 分	
5	脳血管疾患に対する作業療法② 事例を通じてプログラムを立案し実施する。	講義・実技			教科書 p.164-198			60 分	
6	運動失調に対する作業療法 具体的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			資料を配付する。			60 分	
7	パーキンソン病に対する作業療法① 具合的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			教科書 p.218-233			60 分	
8	パーキンソン病に対する作業療法② 事例を通じてプログラムを立案し実施する。	講義・実技			教科書 p.218-233			60 分	
9	脊髄小脳変性症に対する作業療法① 具体的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			教科書 p.218-233			60 分	
10	筋萎縮性側索硬化症に対する作業療法 具体的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			教科書 p.218-233			60 分	
11	多発性硬化症に対する作業療法 具体的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			教科書 p.250-291			60 分	
12	ギランバレー症候群に対する作業療法 具体的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			教科書 p.250-291			60 分	
13	摂食・嚥下障害に対する作業療法 具体的なアプローチ方法について理解する。	講義・実技			資料を配布する。			60 分	
14	生活行為向上マネジメントについて具体的な アプローチ方法について理解する①。	講義・実技			資料を配布する。			60 分	
15	生活行為向上マネジメントについて具体的な アプローチ方法について理解する②。	講義・実技			資料を配布する。			60 分	

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。